



## 30年の闘いの教訓を組織拡大へ！ 第38回定期大会&記念行事開催

JR東海労は6月12～13日、熱海市内で第38回定期大会を開催しました。大会には、連帯して共に闘っている弁護士、歴代委員長4名のほか、多くのOBが参加しました。また、結成30年記念行事を同時に開催しました。

議長に板倉代議員（新幹線）を選出しました。木下委員長は「JR総連の仲間と共に、同意なき出向反対の闘いをつくり上げよう」と挨拶しました。

議事の提起後一旦休会とし、記念行事として「第三者機関を活用した己と職場を変えるための闘い」と題して、パネルディスカッションを行いました。翌日、JR総連沖縄平和研修に参加した森下組織部長、松山共闘部長が報告を行いました。

その後、議事を再開しました。質疑では、全代議員より実践的な職場からの闘いを中心とした発言が出されました。本橋書記長は「結成30年を全体で祝うことができた。組織拡大を勝ち取ろう」と総括答弁を行いました。

今大会で、新たに淵上副委員長を選出し、加藤副委員長と加藤組織担当部長が退任しました。



パネルディスカッション



JR総連沖縄平和研修報告